

かしわ もり 柏葉の杜



学校だより NO. 25
令和元年12月 2日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

○令和元年の最後のしあげを ～ 2学期も残すところ、学校登校日は、わずか17日 ～

5月1日に始まった令和元年。早いもので残すところ、後、一月となりました。2学期登校日も残すところ、17日です。いつも全校集会で話す言葉ですが、「一日一日を大切に」という言葉の意味を本当に痛感します。

年末を迎えると、「新語・流行語」があれこれ取りざたされます。今年も先日の言葉がノミネートされていました。ところで、今年は何の言葉が、みなさんの心にのこっていますか。

・あな番(あなたの番です) ・命を守る行動を ・おむすびころりんクレーター ・キャッシュレス/ポイント還元 ・#KuToo ・計画運休 ・軽減税率 ・後悔などあろうはありますがありません ・サブスク(サブスクリプション) ・ジャッカル ・上級国民 ・スマイリングシンデレラ/しぐこ ・タピオ ・ドラクエウォーク ・翔んで埼玉 ・肉肉しい ・にわかファン ・パブリカ ・ハンディファン(携帯扇風機) ・ボエム/セクシー発言 ・ホワイト国 ・MGC(マラソングランドチャンピオンシップ) ・〇〇ペイ ・免許返納 ・闇営業 ・4年に一度じゃない。一生に一度だ。 ・令和・れいわ新選組/れいわ旋風 ・笑わない男 ・ONE TEAM(ワンチーム)

さて、みなさん、誰が発信し広げた言葉か、また、どんなブームで広がった言葉か分かりますか。

八東フェスティバルの全校での合唱・合奏の曲となった。2020年東京オリンピック応援ソングの「パブリカ」もあがっています。今年、何回もいろいろな場面で聞くことができました。まだ、来年も続くでしょう。

また、個人的には昔から好きなラグビー関連がたくさんあります。「ジャッカル」「にわかファン」「4年に一度じゃない。一生に一度だ」「笑わない男」「ONE TEAM」など、これら日本中を熱狂させたラグビーワールドカップ関連でした。実は、私自身40年以上前からラグビーファンです。日本選手権7連覇の新日鉄釜石のチームと松尾雄治さん、京都伏見工業・同志社大学・神戸製鋼と歩んだ故・平尾誠二さんと、平尾さんとともに歩んだ大八木淳史さんとか、昔からのファンでした。そして、京都伏見工業の「泣き虫先生」・山口良治先生も大好きでした。御免なさい。これを書き出すと長くなるのでラグビー関連の流行語は終わります。

そして、災害などとの関連で「命を守る行動」「計画運休」等もあります。今年も大きな災害が日本全国を襲い、大切にしてきたものを人々から奪い、深い傷跡を日本全国に残しました。そうした状況を思う度に、日々の有り難さ、日常の大切さをしみじみ感じます。どんなものよりも「命を守る行動」がいかに大切なのか。そのことも実感します。今、地球はこれまでの想定が、通用しない自然環境になってきています。

私自身他にもいくつか分かるものもありますが、全く分からないものもあります。さて、みなさんはいくつ分かりますか。2019年の「新語・流行語大賞」は、12月2日午後5時に発表されます。これを読まれる頃は、もう発表が終わっている頃です。今年は、どんな言葉が選ばれるのでしょうか。

時代が変わり、流行はうつろいます。しかし、中でも、変わらないもの・変えてはいけないものがあります。それが「不易」です。「流行」に振り回されないで、自分の中の確かなものを持ちたいものです。子供たちには、自分の中で何か一つ芯になるものを持ってほしいです。

さて、あと一月で令和元年が幕を閉じます。令和2年に向けて、残された2学期を、一日一日大切にし、過ごしてほしいと思います。令和元年の締めくくりに向けて、もうひとがんばり。休まず登校しましょう。

○東部教育局後期学校訪問から ～ 子供たちの姿をたくさん褒めて頂きました。 ～

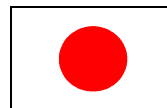
先々週18日の町教委訪問に引き続き、先週末29日の午後から東部教育局(局長・次長・管理主事3名)の後期学校訪問がありました。子供たちの学習の様子を1時間、全学級参観頂きました。参観後の協議では、八東小学校の教育活動、子供たちの姿について感想を頂きました。

「書く活動」を中心にした授業展開により学力向上がみられること、1年から6年まで共通した授業の流れができていること、そして、その成果が着実に子供の姿に出ていることを褒めて頂きました。子供の学習中の元気さとはっきり話す発表の姿や声、教師の明るさと子供たちへのプラスの声かけや一人一人を生かす姿、また、廊下で出会った時の明るいあいさつの姿なども褒めて頂きました。

八東小統合3年間で継続してきた取り組みが、確実に学校の伝統や文化になっている様子を認めて頂きました。そして、八東小学校として目標にむかって全員でやりきろうとする姿も褒めて頂きました。

各クラスでわずか5分間の参観でしたが、あるクラスでは子供たちが「カリカリ」と音を立て、鉛筆を走らせる姿にとても感動して下さいました。その子供たちの集中して書き切る姿に「凄かったですね。」というコメントをいただきました。これこそ八東小学校の「書く学び」の姿です。

○2019年度日韓子供交流事業・八頭町招聘 ～ 11月30日(土)八東小学校にて学校訪問・学校体験 ～



冷え込みの厳しかった先日30日(土)。延期になっていた本年度の日韓子供交流事業・八頭町招聘・学校訪問・学校体験を、八東小学校で行いました。

今回は、八頭町から6年生11名(郡家西小5名・船岡小2名・八東小4名)、横城(フェンソン)郡からは10の小学校から代表1名の10名の子供たちが参加してくれました。学校からは校長他3名の教員で対応し、横城郡からは、横城郡自治行政課の2名・教諭1名・横城郡教育庁職員1名の計4名のみなさんが引率で来校されました。役場企画課のみなさんも準備から来て下さいました。

夏以来の再会で、はじめは少し両国の児童とも緊張した感じでした。開会式では、八頭町の子供たちは、「立ちねぶた」「河内おとこ節」に合わせて、かき踊りを披露しました。横城郡の子供たちは、「テコンムー」という、韓国の国技「テコンドー」とダンスを融合させた踊りを披露してくれました。途中、板割をする動きもあり、なかなかの迫力でした。見事に板を真っ二つに割っていました。

開会式後は、カレー作りに挑戦しました。みんなで協力しながら野菜を切り、あとの調理は役場企画課のみなさんに任せて、その後は、フランス発祥の子供から老人まで楽しめるスポーツ、室内ペタンクゲームに興じました。はじめはなかなかうまくいかなかったようですが、慣れるにつれて的のビュットに、球のブルを近づけることができるようになっていきました。室内ペタンクで楽しい時間を過ごし、切るだけで役場のみなさんに調理していただき完成したカレーを、みんなで食べました。去年は、カレーが残ったそうですが、今年はみんなきれいに食べ切ってくれました。まさに「食欲の秋」、本番ですね。

午前9時30分頃に横城郡のみなさんを迎え、午後1時には、横城郡の子供たち・引率のみなさん、八頭町の子供たち・役場のみなさんもお送りして、瞬く間に八東小学校での学校訪問・学校体験が終わりました。すばらしい天候に恵まれ、青空のもと一行は、氷ノ山自然ふれあい館響の森を目指して出発しました。

【 開会式での様子 カレーの材料切り そして、昼食の様子から 】



日韓子供交流事業・八頭町招聘は、今年から大江の郷のオオエバレーステイに宿泊となり、この後、12月1日(日)は砂丘へ、そして、12月2日(月)の朝には八頭町を出発し、神戸方面で過ごし、12月3日(火)には、大阪で過ごして関西国際空港から帰路へとむかいます。

いつもは夏の招聘事業ですが、初冬のこの時期も八東のすばらしい紅葉と、すっかり色づいた柿の眺めもいいものですね。そんなことを思った半日でした。子供同士の交流は大切です。未来への架け橋作りです。こうした交流を通して、日韓の相互理解が深まることを願います。